

会 議 名	平成 28 年度第 2 回浜田自治区地域協議会
日 時	平成 28 年 11 月 2 日（水）14 時 00 分～15 時 50 分
場 所	浜田市役所 講堂 A・B
出 席 者	委 員 12 名（欠席者 2 名） 市 10 名（事務局 4 名を含む）
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 浜田自治区長あいさつ 3 地域協議会会長あいさつ 4 協議及び報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 投票時間の繰り上げについて (2) 「BUY 浜田運動」の実施について (3) 浜田市の津波浸水想定について (4) 敬老乗車券の販売状況について (5) 浜田市行財政改革推進委員会委員の推薦について 5 その他 6 閉会

出席者名簿

地域協議会

NO	氏名	役職	地区	住所	備考
1	佐々木 正和	会長	国府	浜田市上府町	
2	村井 栄美子	副会長	周布	浜田市日脚町	
3	高村 行延	委員	浜田	浜田市京町	
4	沖田 敏子	委員	国分	浜田市下府町	欠席
5	細川 良一	委員	石見	浜田市長沢町	
6	肥塚 由美子	委員	石見	浜田市高佐町	
7	山下 秀子	委員	石見	浜田市野原町	
8	滝本 武夫	委員	石見	浜田市相生町	
9	宮田 弘	委員	浜田	浜田市朝日町	
10	竹山 勝彦	委員	浜田	浜田市蛭子町	
11	宮下 義重	委員	長浜	浜田市長浜町	
12	田子 ヨシエ	委員	長浜	浜田市熱田町	
13	新田 勝己	委員	周布	浜田市治和町	
14	齋藤 信義	委員	大麻	浜田市西村町	欠席

浜田市出席者

NO	氏名	所属
1	近重 哲夫	副市長（浜田自治区長）
2	砂川 明	地域政策部長
3	宇津 光	地域政策部 政策企画課長
4	河上 孝博	総務部 安全安心推進課長
5	村武 潔	産業経済部 産業政策課長
6	岩田 比呂継	浜田市選挙管理委員会事務局長

事務局

NO	氏名	所属
1	河上 やすえ	地域政策部 まちづくり推進課長
2	永田 直久	地域政策部 まちづくり推進課 地域づくり推進係長
3	福間 裕介	地域政策部 まちづくり推進課 地域づくり推進係 主任主事
4	藤井 雄也	地域政策部 まちづくり推進課 地域づくり推進係 主任主事

会議録

(平成 28 年度第 2 回浜田自治区地域協議会)

1 あいさつ

近重浜田自治区長

本日は、5つの項目について説明、報告をさせていただきたいので忌憚の無い意見を聞かせていただければと思います。

よろしく申し上げます。

佐々木会長

11月にはいって急に寒くなった。

時間も限られていますが、みなさんの忌憚の無いご意見をいただければと思いますのでよろしく申し上げます。

2 協議及び報告事項

(1) 投票時間の繰り上げについて

岩田事務局長

現在、選挙管理委員会において投票時間の繰り上げについて検討している。

浜田自治区内の投票時間については、19時に終了する投票所と20時に終了する投票所の2つの時間帯があるが、それぞれ1時間繰り上げさせていただきたいと考えている。繰り上げを検討することになった経緯としては、以下の3点。

- ・期日前投票がだいぶ浸透してきている。
- ・立会人さんの負担が大きい
- ・県内8市では、浜田市と松江市と安来市が繰り上げを行っていない。

参考までに、平成28年参議院選挙の投票状況について資料掲載している。

山下委員

資料を見ると、投票区によっては19時以降も投票に来る方が多い区もあるが、そのあたりの調整ができるのか。調整ができるのであればいいのだが、少し心配になる。

岩田事務局長

期日前投票が無かった時代でも18:00で終了していた。現在は、期日前投票もあるし、土日でも投票することが可能である。終了時間ぎりぎりに来られる駆け込みの方は、終了時間が繰り上がれば、その時間に合わせてこられるのではないか。

山下委員

投票時間をしっかりと周知をしていただくようお願いしたい。

岩田事務局長

広報でお知らせすることはもちろん、入場券にも投票時間をしっかりと明記することにより周知を図っていきたい。

高山委員

(投票時間を) 繰り上げることによって、経費の削減につながるのか。

岩田事務局長

当然、投票事務の従事時間が短縮されれば、人件費等も削減されることになる。

新田委員

投票時間を短縮することは、全国的な整合性は大丈夫なのか。

岩田事務局長

県内でも投票時間を短縮している自治体が多いし、全国的にも短縮している。

(2) BUY 浜田運動の実施について

村武課長

BUY 浜田運動とは「浜田のものを買おう、浜田を応援しよう」というスローガンで、地産地消を促しお金の域内循環を目指すことで地域経済を活性化することを目的に実施する。この運動を推進し、市民の皆さん一人一人が少しでも浜田のものを買っていただくようにしていきたい。

細川委員

主旨は大賛成です。

取扱店を増やさなければならない。

対象商品については、浜田産だとわかるように表示を徹底してもらいたい。

この運動を進めるとしても、商品が安くないと買わない。

村武課長

運動は始まったばかりであり、現在、取扱店を増やす取り組みを行っているところである。

対象商品がわかるように、ロゴシールを用意している。販売店には少し手間だが、対象商品に貼ってもらうようにしている。また、忙しくてなかなかロゴシールを貼ることができないという店舗には、ポップも用意している。地元商品の多くは、少量生産となってしまうので値段も高くなりがちではあるが、皆さんにたくさん買っていただくことで生産数も増え、価格も抑えることに繋がるのではと考えている。

滝本委員

外国から原材料を輸入して浜田で加工して販売している業者がいるが、そのような店舗を排除するようなことに繋がりにかねないか。

村武課長

この運動が進むことにより、他の産地の不買運動になってはこの運動は行わないほうがいい。浜田市内で加工された商品についても、BUY 運動の対象商品としているので、安心してほしい。

肥塚委員

大型店の取扱はどうなっているのか。

今後、どのように展開していくのか。知り合いに聞いてもこの運動を知っている人はほとんどいない。市民の中から代表する委員を作り、PR に力を入れていく必要があるのではないか。市民の中には、無報酬でも意見を言いたい人はたくさんおられる。

広報に載せることだけでは、PR 効果があまりない。自治会や町内会にも周知していく必要がある。

BUY 浜田運動に参加する企業は、取り扱う商品に品質等の責任を持たせる必要がある。

販売網（取扱商品）を充実させていく必要がある。

村武課長

BUY 浜田運動推進委員会の中でも、女性目線が足りてないのではないのかという意見も出たところであり、今後、構成員も編成も考えていく。

大型店にも、地元産の商品を置いてもらって購入している消費者もおられる。この運動が排除運動になってはいけないので、大型店にも参加していただくこととしている。運動が進み、もしも浜田産の商品が品薄になるようなことがあれば、浜田だけでなく周辺市町の商品の購買についても推進し、石見地域全体の活性化を目指す BUY 石見運動にレベルアップしても良いと考えている。

山下委員

消費を増やすということが BUY 浜田運動の目的だが、消費者の意見を聞いたほうがいいのではないか。地元産は安全であることなどが具体的に明記してあれば、消費者からも選んでもらえるのではないか。

村武課長

そうした部分については、BUY 浜田運動に限らず販売促進するための企業努力の部分であると思うが、BUY 浜田運動推進委員会としてそうした声を伝えていきたい。

(3) 浜田市の津波浸水想定について

河上課長（安全安心）

島根県のほうで新たな地震想定を進めている。それに伴う津波というものについて検討委員会を設け、今年度末を目途に発表したいということで準備をされている。先般新聞報道があったように、本検討において浜田市に非常に大きな津波が来る可能性があるというようなことがあったので、今日は現時点で分かっている情報提供をさせていただく。

新聞報道に、浜田市は当時の 2.9m の予測から今回の検討で 6.8m に変わったとの記事が掲載され、非常に皆さん不安になったことと思う。これだけ見ると浜田市全域に 6.8m の津波が来るように思えるが、あくまでポイント的な話であり、長浜の大島の先のあたりが 6.8m になると想定されている。そしてこの 6.8m の津波については、千年に 1 度くる最大規模の地震の際の話であることをご理解いただきたい。

また、現時点では案の案の段階であり、数値が変わることもありえる。まだ県のほうの検討委員会段階の資料ではあるが、こういった想定が公表されるということなので、津波に対して「うちは大丈夫だ」というふうに考えず、非常に広い範囲で津波の影響がある可能性があるということをご理解いただければというふうに思っている。市もできる限り周知を今後進めて行くので、引き続きよろしくお願ひしたい。

村井副会長

この想定結果について、公表はいつごろになるのか？

河上課長（安全安心）

予定では今年度末に公表となっているが、平成 24 年度の公表の時も半年くら

いずれたことがある。仮に予定通り年度末に公表されたとして、それを受けた資料を印刷とか発注になれば数カ月かかると思われる。

滝本委員

浜田は地震が無くても高潮で浸水することがあるので、高潮にも注意する必要がある。

河上課長（安全安心）

海面は気圧が低いと上昇するため、おっしゃるとおり瀬戸ヶ島や港町付近は高潮で浸水する箇所がある。

山下委員

電柱に海拔〇mといった表示があるが、市民はどのような被害（浸水）があるのかわかっていないので、広く市民に周知をしていただきたい。

河上課長（安全安心）

周知（表示）については、順次行っていく予定としているが、恐ろしいのは、「海拔〇m」という表示を見た人が「うちは大丈夫」と勝手に推測してしまうこと。今回の見直しで津波の規模も大幅に変わったので、情報を認識したうえで、状況に応じた判断を市民の皆さんが自分自身でしていく必要がある。

（4）敬老乗車券の販売状況について

河上課長（まちづくり）

浜田自治区は制度を初めて1カ月で対象の方（70歳以上）の約18%に購入いただいている。9月末現在は約22%までいっている。5人に1人くらいは利用いただいている状況。引き続き周知を徹底し、利用率の向上を図る。

細川委員

70歳以上の家族であれば、家族の持っている敬老乗車券を共有できるような仕組みを検討してもらいたい。

河上課長（まちづくり）

家族で共有できるとなると、「他人にあげても分からない」ということになって、制度自体が崩壊していく恐れもあるため、その部分については、厳しくせざるを得ない。

(5) 浜田市行財政改革推進委員会委員の推薦について

河上課長（まちづくり）

引き続き細川委員にお願いしたい。

細川委員

発足当時から委員をいているが、今から浜田市の公共設備の再編計画について考える時期に入る。皆さんからの推薦があれば引き続き務めさせていただきたい。

5 その他

なし

閉会 15時50分